

**狭山茶** (煎茶・ほうじ茶・玄米茶・くき茶)

情報提供：埼玉県所沢市在住 M様 (63168) 2012年6月22日

樹勢が良くなった為、天候不良による影響がなくなり、病害虫にも強くなりました。例年より収量が約2割上がり、二番茶も同じ収量がありました。

**特長**

- 樹勢が良くなり、新芽の成長スピードが他園よりも1週間程早かったです。
- 12～2月頃は、寒くて雨量が少なかったので、3～4月頃になると近くの茶畑は赤く枯れていましたが、当茶畑は葉が青々していました。
- 病虫害に強くなり、虫がつきにくくなりました。

**栽培地状況**

- 茶園は、風抜けと水はけの良い場所にあり、露地栽培です。
- 農薬を極力控えて、減農薬栽培をしています。
- 有機質堆肥が中心で、徹底した栽培管理をしています。
- スーパーERは、2012年度の新茶分から使用し、約2ヘクタール全面に施用しました。

**施用状況**

<2011年～> 10アール当たり

		日付	希釈倍率	施用量
作物への散布		11月中旬	1000倍	175ℓ
		3月中旬		
収穫時期	一番茶	5/ 4 ~ 5/ 22		
	二番茶	6月下旬 ~ 7月上旬		

**生産者の声**

- 「今年は地面がフワフワして、とてもやわらかい」と、お茶つみをした方に言ってもらえました。
- 例年に比べ今年は味に深みを感じました。スーパーERを使い続けて、「個性豊かで、甘みと深みのあるお茶」を作りたいです。
- スーパーERの使用前に賞を受賞しましたが、スーパーERを使い続けることで、さらなる味の向上が期待できます。  
(2011年1月度 → 埼玉県知事賞 2012年1月度 → 所沢市荒茶品評会 入賞)
- 県による放射性物質の検査をした所、セシウムが0.8ベクレルで1以下だった為、「検出されませんでした。」の結果をいただきました。又、10ヶ所検査して全て「問題なし」でした。

**◆ご使用にあたってのポイント**

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壤中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。